みんなが使いやすい席を考えよう

条件を整理して、無理のない座席配置を考えます

目安 10〜15分　難易度：標準　複数条件を整理

場面

デイサービスで昼食の席を決めます。
4人の希望や安全面を確認し、A〜Fの席から考えてみましょう。

1 座席図を確認する

通路と窓の位置を確認してから考えます



2 4人の条件を整理する

必要な情報を見つけて、席の候補を考えます

佐藤さん

歩行器を使用
通路に出やすい席がよい

鈴木さん

まぶしさが苦手
窓の近くは避けたい

田中さん

窓の外を見るのが好き
できれば窓側を希望

高橋さん

特別な希望はない
全体のバランスを考える

3 考えて決める

答えだけでなく、理由も考えてみましょう

① 4人それぞれに合う席を書きましょう。

佐藤さん　席　　鈴木さん　席

田中さん　席　　高橋さん　席

② いちばん迷った人は誰ですか。理由を一言で書きましょう。

③ 発展：窓側のC席が使えなくなったら、配置をどう変えますか。

この課題で使う力：視空間認知 / 条件整理 / 問題解決 / 複数条件下での意思決定

解答例

みんなが使いやすい席を考えよう

正解は1通りではありません。理由が説明できれば別解も考えられます。

1 配置例

一例として、次のような配置が考えられます



2 考え方の例

席を選んだ理由を条件と結びつけます

佐藤さん → A席

通路側で、歩行器を使って移動しやすい。

鈴木さん → B席

窓側を避けながら、中央の席を選べる。

田中さん → C席

希望どおり窓側の席にできる。

高橋さん → D席

他の3人の条件を優先した残りの席。

3 発展問題の例

C席が使えない場合は、希望と安全の優先順位を考えます

例：田中さんをF席へ移し、他の配置はそのままにする。

理由：F席も窓側なので、田中さんの希望を保つことができます。

別解も可

安全面や本人の希望をどう優先したか説明できれば、他の配置も考えられます。

※このプリントは診断・評価尺度ではなく、考える過程を楽しみながら使う認知課題です。

正答だけでなく、条件の読み取り・理由づけ・修正のしかたも大切です

支援者向け

課題のねらい・進め方

利用者のペースに合わせて、ヒントや難易度を調整してください。

1 この課題の主なねらい

日常生活でも必要になる「複数の条件を整理して決める力」を意識した課題です

主に使う認知機能

- **視空間認知** 席・通路・窓の位置関係を把握する
- **ワーキングメモリ** 複数の条件を一時的に保ちながら考える
- **問題解決・推論** 条件に合う配置を比較し、理由をつける
- **認知的柔軟性** 条件が変わったときに配置を修正する

2 難しい場合のヒント

すぐに答えを伝えず、条件を一つずつ整理します

① まず「通路側」「窓側」の席だけ一緒に確認する。

② 佐藤さんは「通路側」、田中さんは「窓側」と候補を絞る。

③ 鈴木さんは窓側を避ける、という条件を追加する。

④ 最後に高橋さんを配置し、全体を見直す。

3 簡単な場合の難易度の上げ方

条件を増やしても、文字量を増やしすぎないようにします

- 「B席は使用できない」など、使用不可の席を1つ追加する。
- 「できるだけ席を移動させずに変更する」という条件を加える。
- 完成後に図を隠し、誰がどこに座ったか思い出してもらう。

4 観察するとよいポイント

正誤だけではなく、課題への取り組み方を見ます

- 開始までにどの程度時間がかかるか
- 条件を途中で忘れずに保持できるか
- 一度決めた配置を必要に応じて修正できるか
- 理由を言葉で説明できるか

※結果だけで認知機能の状態や改善効果を判断するための課題ではありません